

### 3. カバーへの追加加工

- ・ チャック表面にピン穴などの追加加工を施して、ロケータの回転方向の位置決めを行いたい場合には、カバーへの追加加工が可能です。カバーは調質材 (HS30~35) を使用しています。追加加工の際は工具や切削条件に留意して下さい。

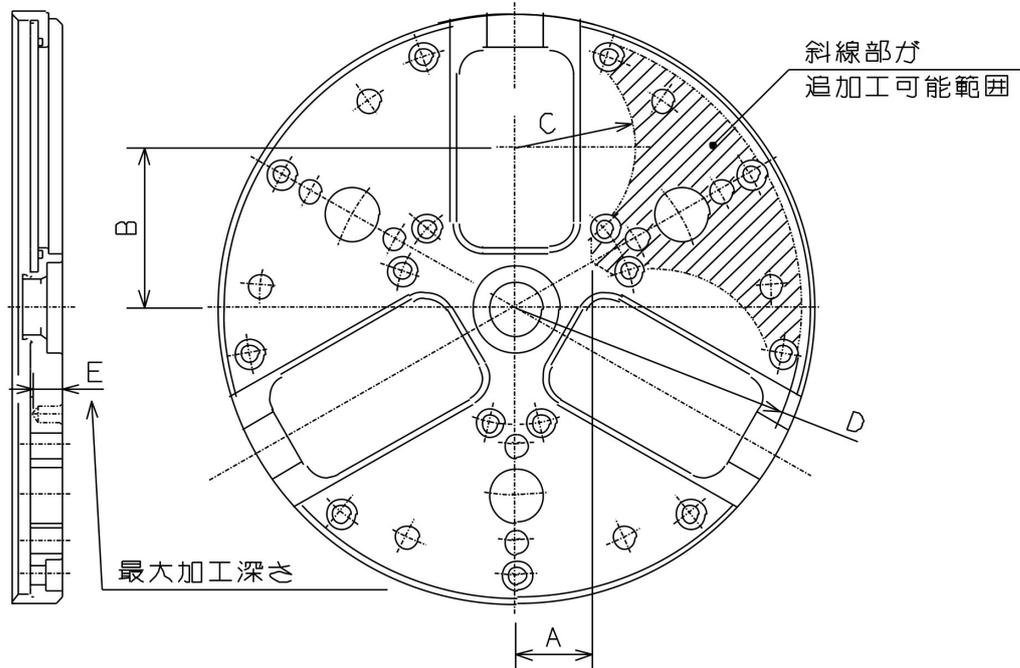


図 21  
表 5

形式	A	B	C	D	E
DL206	24	47	R32	R79	9
DL208	27	56.5	R42	R100	10
DL210	33	68	R49	R120	12
DL212	33	93	R49	R145	12

## ⚠ 危険

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドウエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。

## 留意

- キリ穴先端がカバーを貫通しないように留意すること。
- 追加加工はピン穴程度とし、大きく切除することは避けること。
- 追加加工によるカバーの変形が無いように注意すること。